

被爆語り部 遺志継ぐ

「アオギリにたくして」来月徳島で上映会

原爆で焼け焦げながら新芽を出したアオギリの木の下で被爆体験を語り続けた広島市の故沼田鈴子さん。過酷な人生の中で希望を見失わずに生きた沼田さんをモデルにした映画「アオギリにたくして」が、5月24、25日に徳島市で上映される。主催する徳島映画センターの四宮洋石代表は、「平和を願った沼田さんの遺志を受け継ごう」と、県内各地での映画の上映と、公共スペースへの被爆アオギリの苗木の植樹を呼びかけている。

沼田さんは22歳の時、爆亡となったが、東日本大地震地近くで被爆して左足を失った被災者や福島第一原発失った。婚約者も戦死し、生き絶望のふちで死ぬことばかり考えていた時、焼け焦げたアオギリが新芽をふく姿に勇気づけられ、どんなに苦しくても生きようと思ふ。平和記念公園に移植されたこの木の前で、1980年代から修学旅行生らに体験を語ってきた。2011年7月に87歳で



原爆で傷つきながらも芽吹いたアオギリ。いずれも「ミュージアの里」提供



映画の場面

平和願う 植樹呼びかけ

映画には、原日出子さんと渡辺裕之さん夫妻、風見しんごさん、斉藤とも子さんが出演。阿南市出身の女優はらまいこさん(26)が、沼田さんの妹役を演じている。

映画には、原日出子さんと津乃峰地区で建設中の防災公園への植樹を決めている。四宮さんは「来年は終戦から70周年。映画を通じて戦争の悲惨さをあらためて知るとともに、被爆アオギリを植樹することで平和を大切にしたい」と話している。

徳島市は20年ほど前から、平和活動の一環として、被爆アオギリの種子から育てた苗木を、修学旅行などで平和記念公園を訪れた学校に分けたり、希望する団体や企業へ送ったりしている。その数は7600株以上にのぼるといふ。

公共のスペースや、一般の人が見ることができるところに植えることが条件で、個人は対象外。苗木は高さが30センチほど、無料だが、送料は着払いになる。県内では、阿南市が、3月末に市民らの手で上映会が催

へ。(原谷純)

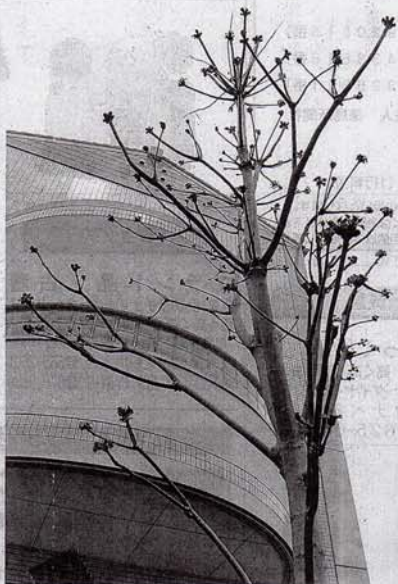
広島市の被爆アオギリ 苗木植樹を

広島市の被爆語り部として知られる故沼田鈴子さんをモデルにした映画「アオギリにたくして」の上映に取り組み徳島映画センター(徳島市)は、作品に登場する被爆アオギリの苗木の植樹と映画の上映を県内自治体などに呼び掛けている。来年の終戦70周年を前に、平和への願いの輪を広げるのが狙い。映画には阿南市出身の女優はらまいこさん(26)が出演していて、同市は植樹を計画している。

徳島映画センター 自治体に呼び掛け

平和を訴える公共的な本。都道府県の内訳は不明だが、県内ではとみ(代金は送料のみ)の申し込みを受け付けている。2013年3月末までに、全国各地に届けられた苗木は7637本。都道府県の内訳は不明だが、県内ではとみ(代金は送料のみ)の申し込みを受け付けている。2013年3月末までに、全国各地に届けられた苗木は7637本。

平和願う輪広げたい



とくしま生協本部の前庭に植わっている「被爆アオギリ2世」—北島町中村